

WE'RE FOR CREATORS™

2021年12月期 第2四半期 決算補足説明資料

2021年8月12日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

対前年同期比で増収増益

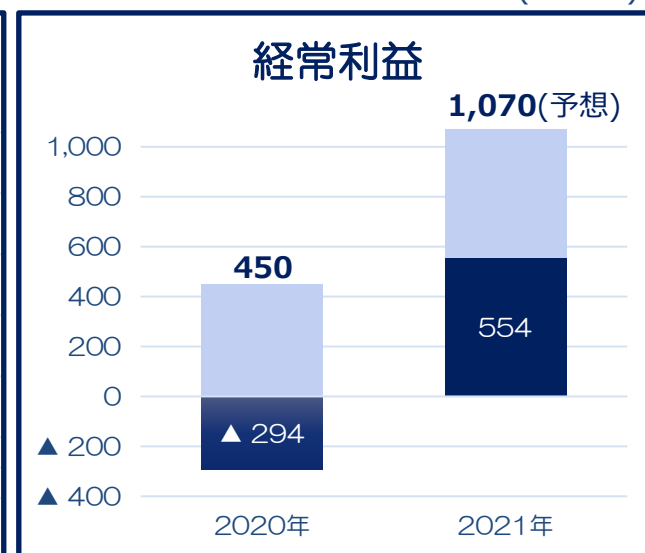
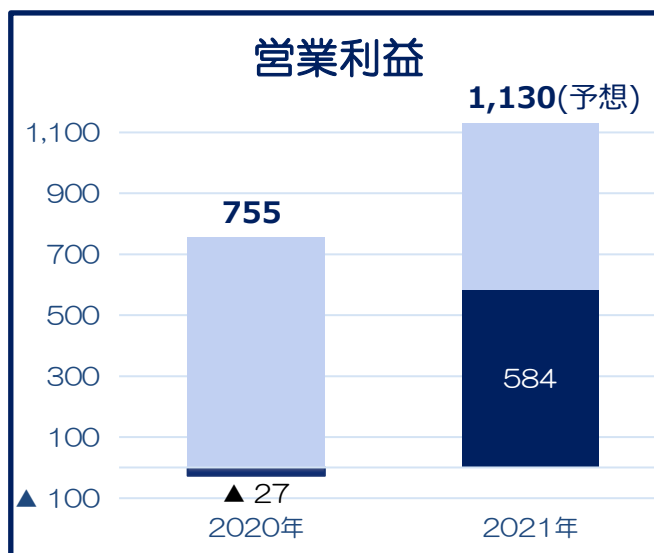
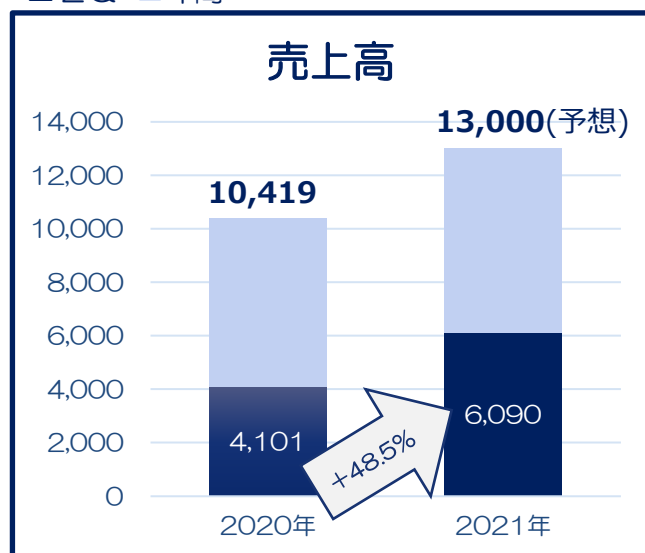
2021年第2四半期連結業績

売上高	:	6,090百万円	(前年同期比 +1,988百万円)
営業利益	:	584百万円	(前年同期比 +611百万円)
経常利益	:	554百万円	(前年同期比 +849百万円)

- ・ステイホーム需要及び2020年4月のZOOM North America, LLC (以下、ZNA) 子会社化により増収増益
- ・2Q(6ヵ月)は、対前年同期比では売上高19億円増加、営業利益6億円増加、経常利益8億円増加

■ 2Q ■ 年間

(百万円)



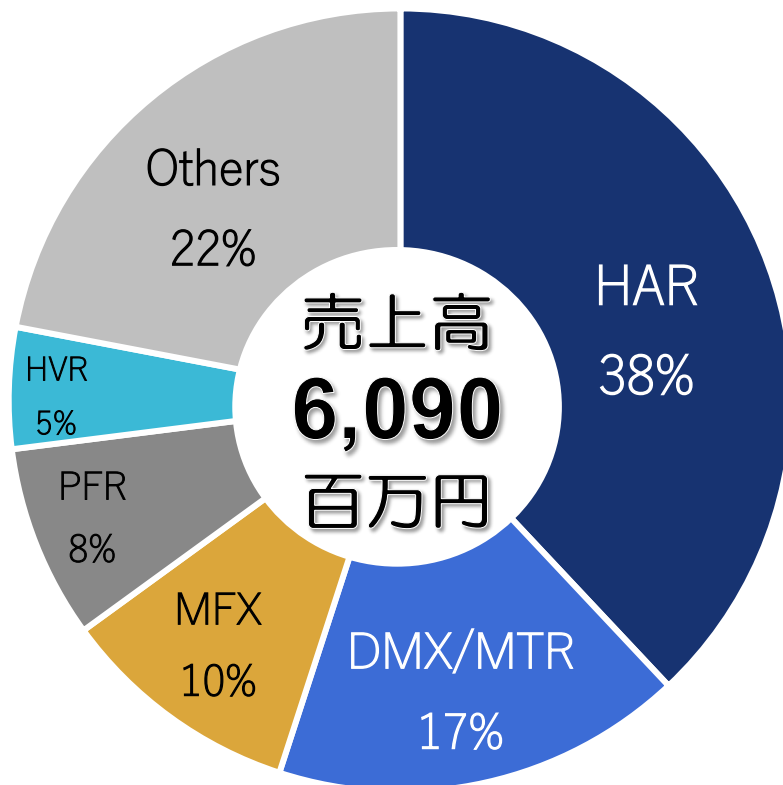
2021年12月期 第2四半期 連結損益計算書（要約）



(百万円)

	2020.12期 第2Q累計実績	2021.12期 第2Q累計実績	増減額	摘要
売上高	4,101	6,090	1,988	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での使用に適した楽器や関連機器の販売はいわゆるステイホーム需要により堅調に推移 ・ZNAを2020年4月1日から連結子会社化 ・株式会社フックアップ（以下、フックアップ）の損益計算書を当2Qから連結（3ヶ月分） ・2020年10月に発生したサプライヤー工場火災の対応が順調
売上総利益 (売上総利益率)	1,516 (37.0%)	2,622 (43.1%)	1,106	・北米地域の販売代理店であるZNAの子会社化により売上総利益率が良化
営業利益 (売上高営業利益率)	▲27 (▲0.7%)	584 (9.6%)	611	・当2Q（4月から6月）は研究開発費が1Q（1月から3月）比で100百万円増加。工場火災対応から新製品開発へエンジニアのリソースをシフト
経常利益 (売上高経常利益率)	▲294 (▲7.2%)	554 (9.1%)	849	・前年同期は、ZOOM UK Distribution LTDが倒産法に基づくアドミニストレーションを申請したことに伴い、関連損失を含む持分法投資損失240百万円を営業外費用に計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	▲53 (▲1.3%)	391 (6.4%)	445	・前年同期は、ZNAに対して連結子会社化する前に有していた持分を公正価値で評価したことによる段階取得に係る差益178百万円を特別利益に計上
EBITDA	▲137	784	921	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費＋持分法投資損益
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※133 541 ▲7	※199 630 ▲6	66 89 0	※のれん償却額89百万円（前年同期42百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	108.2円	107.6円	▲0.6円	

製品カテゴリー別売上高



カテゴリー名称

HAR : Handy Audio Recorder

DMX/MTR : Digital Mixer/Multi Track Recorder

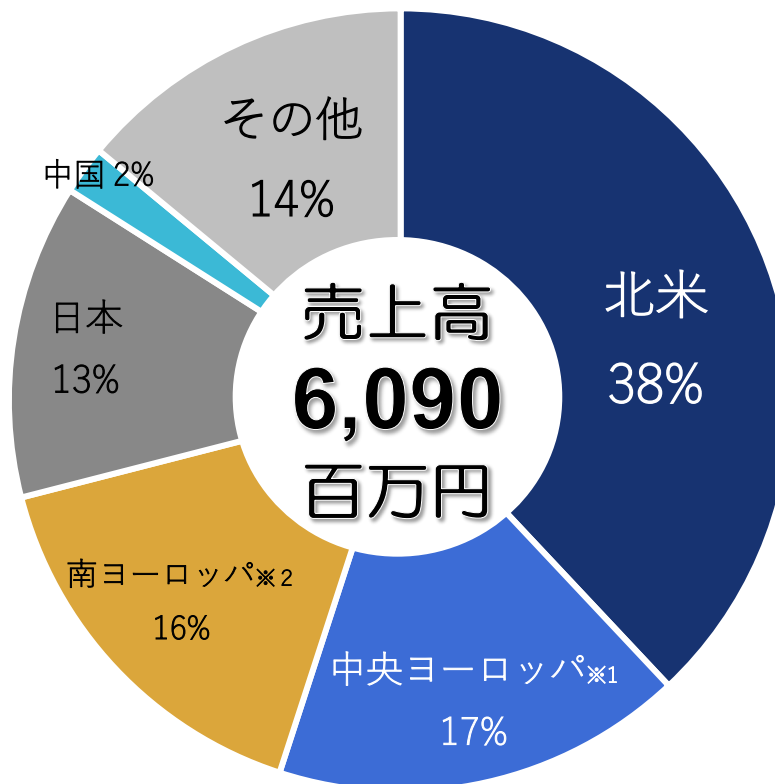
MFX : Multi Effector

PFR : Professional Field Recorder

HVR : Handy Video Recorder

Other : その他、Mogar取り扱いブランド、フックアップ取り扱いブランド

地域別売上高



※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

コロナ禍のもと売上が増加したレコーダーやデジタルミキサーの需要は引き続き堅調

(百万円)

	2020.12期 第2Q累計実績	2021.12期 第2Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	1,794	2,319	525	<ul style="list-style-type: none"> ・ZNAの連結子会社化、ステイホーム需要 ・前年下期発売H8の新製品効果、H5の販売が好調 ・サプライヤー工場火災の対応が順調に進み委託先工場の生産に大きな影響無し
デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	500	1,055	555	<ul style="list-style-type: none"> ・ZNAの連結子会社化 ・ポッドキャスト収録に適したP4及びP8、ライブストリーミングやレコーディング用途としてのLシリーズの販売が増加
マルチエフェクター※1 (MFX)	471	589	118	<ul style="list-style-type: none"> ・G1 Fourシリーズの販売が好調 ・前年下期発売G6の新製品効果
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	261	474	212	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での活動が再開されつつあることから需要が回復傾向 ・前年下期発売F2及びF2-BTの新製品効果
ハンディビデオレコーダー (HVR)	340	315	▲25	<ul style="list-style-type: none"> ・Web会議やオンラインレッスン目的等での需要は引き続き堅調 ・前年同期は新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワーク浸透により、Web会議目的等での需要の急増があったことによる反動減
その他※1	384	589	205	<ul style="list-style-type: none"> ・前年発売ポッドキャスト用マイクパックZDM-1PMPの新製品効果 ・前年下期発売ボーカル用エフェクトプロセッサV3の新製品効果
Mogar取扱いブランド	349	375	26	前年同期は南ヨーロッパのロックダウンの影響を受け売上高が減少したが、ワクチン接種の普及による経済活動の正常化により需要が回復傾向
フックアップ取扱いブランド	-	370	370	当第2四半期連結会計期間からフックアップの損益計算書を連結したことにより、同社が取扱う当社以外のブランドの製品売上を計上
合計	4,101	6,090	1,988	

※1. 前連結会計年度までマルチエフェクターに含めて開示していた当社のボーカル用エフェクトプロセッサ（V3及びV6）については、別カテゴリー（その他）に組み替えております。

ステイホーム需要により（加えて北米はZNAの子会社化により）売上高が大幅増

(百万円)

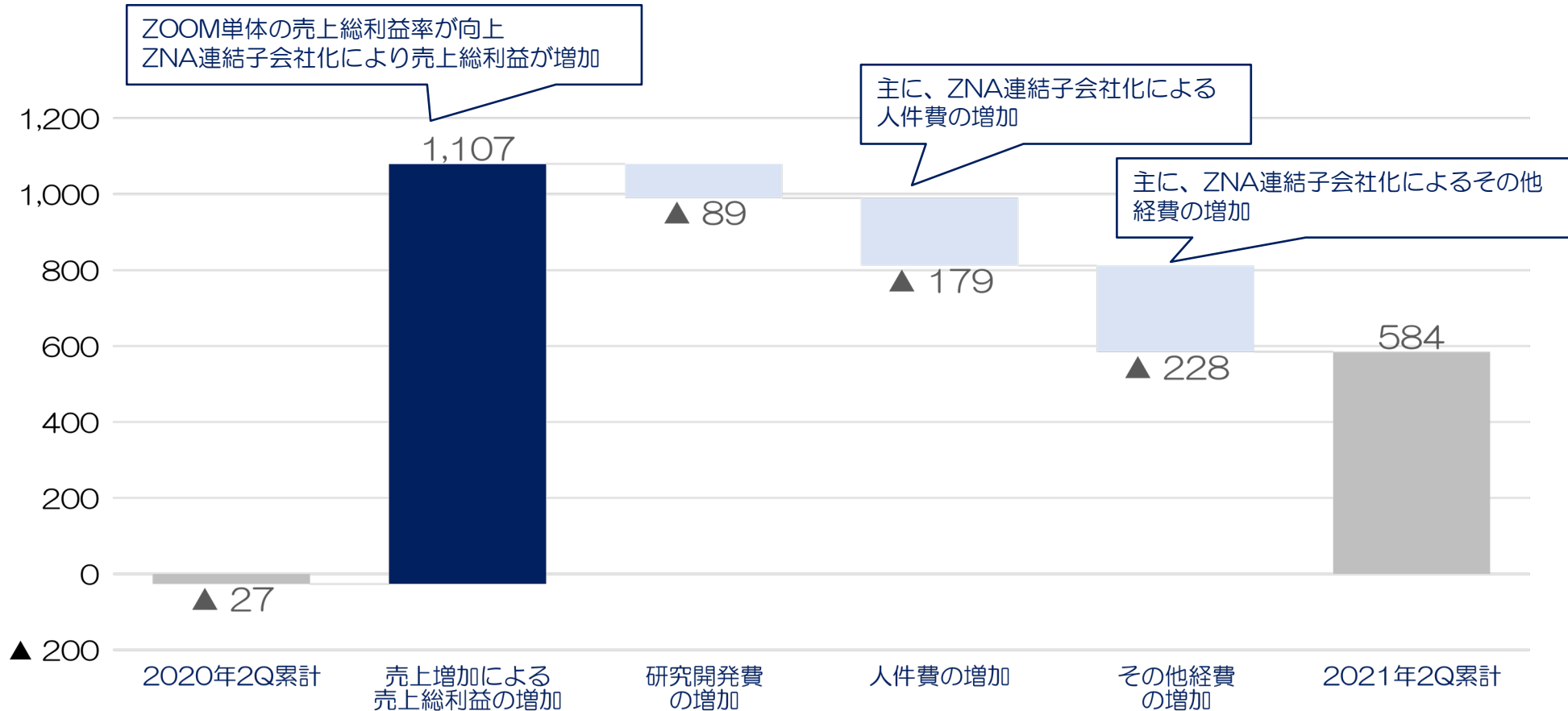
	2020.12期 第2Q累計実績	2021.12期 第2Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
北 米	1,537	2,296	758	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年4月にZNAを連結子会社化 ・ステイホーム需要により、特に下記の製品の販売が好調 - 前年下期発売H8 - ポッドキャスト配信用製品（P4、P8）
中央ヨーロッパ※1	637	1,028	390	<ul style="list-style-type: none"> ・ステイホーム需要により、DMX/MTRカテゴリ製品等が好調 ・イギリス向けは前年同期ZUKの倒産法申請による売上減の反動増
南ヨーロッパ※2	786	956	170	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同期は南ヨーロッパのロックダウンの影響を受け売上高が減少 ・当期はAmazon等のオンライン経由での販売が増加
日 本	412	805	392	<ul style="list-style-type: none"> ・HARカテゴリのオンライン販売が好調 ・L-8やQ2n-4Kはライブ配信用として好評であり販売が増加 ・フックアップが取り扱う当社以外のブランドの製品売上を計上
中 国	126	128	1	
ロシア	47	96	49	前年同期はロックダウンの影響を受け売上高が減少したが、ワクチン接種等による経済活動の正常化によりHARやDMXの需要が回復
U.A.E.	42	93	50	前年同期はロックダウンの影響を受け売上高が減少したが、ワクチン接種等による経済活動の正常化によりHARやPFRの需要が回復
オーストラリア	68	80	11	
その他	441	604	163	韓国+38、タイ+33、台湾+29
合計	4,101	6,090	1,988	

下線部については、2020年8月21日発表の決算説明会資料に記載の数値を訂正しております。

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

営業利益の増減分析（百万円）



2021年12月期 第2四半期 連結貸借対照表 (要約)



(百万円)

	20.12期末	21.12期 第2Q末	増減額	増減要因
流動資産	7,661	7,622	▲39	
現預金	2,731	2,219	▲511	主に、自己株式の取得による支出426M
売掛金	1,658	1,657	▲1	
商品及び製品	2,516	2,939	422	ZNA在庫積み増しにより285M増加、フックアップの連結子会社により156M増加
固定資産	2,536	2,822	286	
有形固定資産	526	487	▲38	
無形固定資産	1,393	1,518	124	フックアップの連結子会社化に伴いのれんが135M増加
投資その他の資産	616	816	200	主に、繰延税金資産が117M増加
資産合計	10,198	10,444	246	
流動負債	3,883	3,985	101	
買掛金	1,133	1,175	41	
短期借入金	1,601	1,470	▲130	運転資金目的の借入金を一部返済
固定負債	1,177	1,170	▲7	
負債合計	5,061	5,155	93	
資本金	212	212	—	
純資産合計	5,136	5,289	153	自己株式の増加による減少317M、四半期純利益計上等による利益剰余金の増加243M、為替換算調整勘定の増加202M
負債純資産合計	10,198	10,444	246	

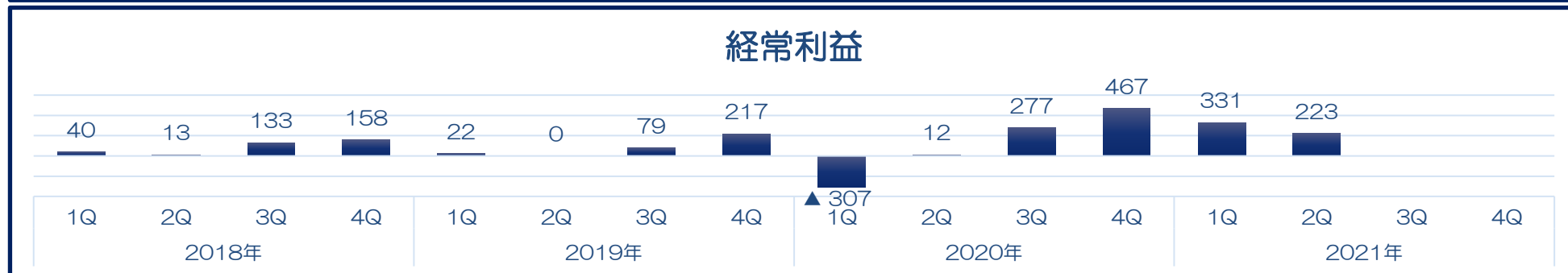
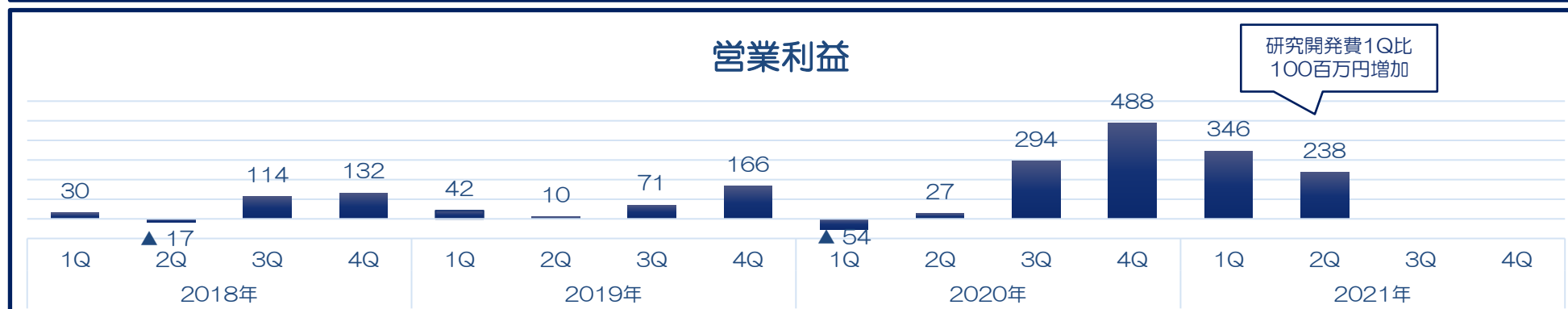
(百万円)

	20.12 第2Q累計実績	21.12 第2Q累計実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	670	591	▲79
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,184	▲318	865
財務活動によるキャッシュ・フロー	858	▲876	▲1,734
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲3	93	96
現金及び現金同等物の増減額	340	▲510	▲851
現金及び現金同等物の期首残高	2,312	2,697	384
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,653	2,186	▲466

■ 2021年12月期 第2四半期のキャッシュ・フロー (CF) 増減要因 (百万円)

- ・ 営業活動によるCFの主な要因：たな卸資産の増加▲164／仕入債務の減少▲158／税金等調整前四半期純利益554／売上債権の減少296
- ・ 投資活動によるCFの主な要因：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得▲285／有形固定資産の取得▲69
- ・ 財務活動によるCFの主な要因：短期借入金の減少▲239／自己株式の取得▲426／配当金の支払▲138

(百万円)



売上及び利益は下期に増加する傾向であるが、当下期の見通しは不透明感が強く慎重

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)	1株配当 (円)
前回発表予想 (A)	12,000	800	700	500	223.25	67.00
今回修正予想 (B)	13,000	1,130	1,070	730	340.92	102.00
増減額 (B-A)	1,000	330	370	230	—	—
増減率 (%)	8.3	41.3	52.9	46.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	10,419	755	450	502	223.57	62.00

<修正理由>

1. 売上高について、コロナ禍のもと増加したレコーダーやデジタルミキサー等の当社製品への需要は引続き堅調であり、また、想定していた為替レート（1ドル102円）より円安に推移したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は予想を上回る結果となった。
2. 第3四半期以降についても当社製品への需要は引続き底堅いと予想されるものの、世界的な半導体部品供給不足による生産の遅延及び物流網の混乱による出荷の遅延が想定されることから、これらの影響による販売機会損失を考慮して業績予想を見直した結果、売上高は前回発表予想から1,000百万円増加し13,000百万円となる見込み。これにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想を上回る見込み。
3. 配当については、配当性向30%を目安として安定的な配当を行うという基本方針に基づき、前回発表予想から35円増配。

対前年比で増収増益を予想（2021年8月12日公表）

(百万円)

	20.12期 実績	21.12期				
		予想	増減額	増減率	2Q実績	達成率
売上高	10,419	13,000	+2,580	+24.8%	6,090	47%
営業利益	755	1,130	+374	+49.6%	584	52%
経常利益	450	1,070	+619	+137.3%	554	52%
親会社株主に帰属する当期純利益	502	730	+227	+45.2%	391	54%
EBITDA	823	1,540	+716	+87.0%	784	51%

一株当たり当期純利益	223.57円	340.92円	+117.4円	+52.5%
一株配当	62円	102円	+40円	+64.5%
配当性向	27.7%	29.9%	—	—
為替レート（円／米ドル）	106.8円	105.0円	—	—

為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約21百万円減少（増加）

2021年12月期 連結カテゴリー別売上予想



(百万円)

	20.12期 実績	21.12期				
		予想	増減額	増減率	2Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,496	4,534	+37	+0.8%	2,319	51%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	1,371	2,286	+914	+66.7%	1,055	46%
マルチエフェクター ※1 (MFX)	1,118	1,356	+237	+21.3%	589	43%
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	680	985	+304	+44.8%	474	48%
ハンディビデオレコーダー (HVR)	1,028	636	▲391	▲38.1%	315	50%
その他 ※1	1,032	1,391	+358	+34.8%	589	42%
Mogar取扱いブランド	691	745	+54	+7.8%	375	50%
フックアップ取扱いブランド	—	1,064	+1,064	—	370	35%
合計	10,419	13,000	+2,580	+24.8%	6,090	47%

※1. 前連結会計年度までマルチエフェクターに含めて開示していた当社のボーカル用エフェクトプロセッサ（V3及びV6）については、別カテゴリー（その他）に組み替えております。